

2025
vol.2

まだ知らない香川を
旅する小冊子

TRAVEL KAGAWA

トラベルカガワ

瀬戸内の風土に根ざす
香川の建築・アート

山中に佇む海賊の城・瀬戸内海歴史民俗資料館

かがやくけん、かがわけん。

香川県

travel.my-kagawa.jp



うどんだけじゃない アート県かがわ

香川県には、生活の中に建築とアートが根付いています。各地にアートが点在し、美術館はもちろん、著名な建築家による名建築まで、多様な芸術に出会えます。

今号では、香川の中・西部の建築・アートを中心にをご紹介します！

坂出 エリア

絶景と一緒にカフェタイム！

カフェなぎさ

美術館内にあるカフェ「なぎさ」。瀬戸内海と瀬戸大橋を一望でき、入館料不要で気軽に利用できます。



01 香川県立 東山魁夷せとうち美術館

東山魁夷の版画作品の寄贈を受け誕生した県立美術館。設計は魁夷が信頼を寄せた建築家・谷口吉生。洗練された空間で、作品を鑑賞できます。展示室の階段を下りれば瀬戸大橋と青い海が広がり、魁夷の先祖の故郷・櫃石島が望めます。

住 所	坂出市沙弥島字南通224-13
電話番号	0877-44-1333
営業時間	9時～17時（最終入館16時30分）
定休日	月曜日・年末年始、臨時休館あり
料 金	一般 400円など、高校生以下無料
駐車場	有（瀬戸大橋記念公園西駐車場）

HPは
こちらから



02 瀬戸大橋記念公園

瀬戸大橋の開通を記念して橋のたもとに整備された公園で、園内には、芝生広場、こども広場、マリンドームなど家族連れが楽しめる施設が充実。山本忠司が設計した瀬戸大橋記念館では、架橋工事の全貌を紹介する展示や全天周の迫力映像が見られるブリッジシアター、展望台などの施設があります。

住 所	坂出市番の州緑町6-13	料 金	入場無料
電話番号	0877-45-2344	駐車場	449台
営業時間	記念館：9時～17時（最終入館16時30分）		
定休日	無休		

※記念館は月曜日（祝日の場合は翌日。ただし、GW・夏休み期間は開館）、12月29日～1月1日は閉館。

階層・地層・層／ ターニャ・プレミンガー



Photo by Kimito Takahashi

香川県でよく採れる花崗土を盛り、芝で覆った高さ6メートル半の小高い丘を造成。なだらかな斜面は登ることもでき、展望スポットとしても楽しめます。瀬戸大橋の白い直線と緑の丘との対比も鮮やか。

HPは
こちらから



五色台は、高松市と坂出市にまたがる溶岩台地であり、瀬戸内海の島々を眺めるのには最適のスポットです。豊かな自然環境が魅力で、歴史的な建物と近代のアート・施設が点在するドライブコースがオススメです。

五色台 エリア

01 瀬戸内海 歴史民俗資料館

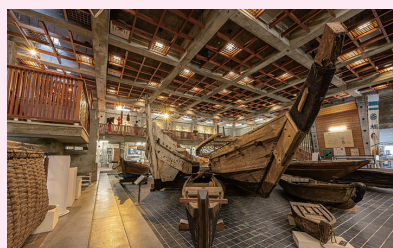
備讃瀬戸を望む景勝地五色台に佇む資料館。石を積み重ねた外観の建築は山本忠司の設計で、1975年の日本建築学会賞受賞などを経て、2024年に国の重要文化財に指定されました。瀬戸内地方の歴史、暮らしや文化に関する資料を収集・展示しています。

住 所	高松市亀水町1412-2	料 金	入場無料
電話番号	087-881-4707	駐 車 場	有
営業時間	9時～17時（最終入館16時30分）		
定 休 日	月曜日、年末年始		

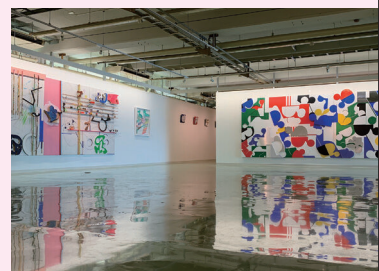
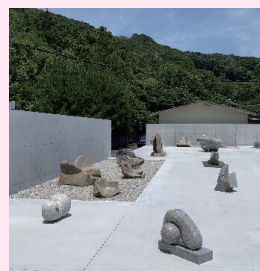
HPは
こちらから



▲五色台の景観に溶け込む



▲約6,000点が国の重要有形民俗文化財に指定

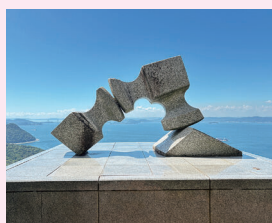


02 川島猛アートファクトリーミュージアム

川島猛は高松市出身・在住の現代美術家。1963年から53年間にわたってNYを拠点に制作活動。ニューヨーク近代美術館、東京国立近代美術館など国内外に作品が収蔵されています。美術館は元工場の趣が残る屋内と、海や山を望む屋外の彫刻広場があり、様々な素材を使った絵画や立体作品が展示されています。（屋内2回展示替え）

住 所	高松市亀水町1411	定 休 日	日、月、水、金曜日
電話番号	087-802-6888	料 金	一般 1,000円、高校生以下無料
営業時間	10時～16時	駐 車 場	有

HPは
こちらから



またきまい

大崎山園地に立地する、流政之の作品。作品名の由来は、「また来てください」を意味する香川の方言です。

五色台山の家 (現・五色台少年自然センター)

五色台山の家(現・五色台少年自然センター)は、丹下研究室の浅田孝が企画した五色台開発計画に基づきつくられた集団宿泊施設です。中学生の「五色台学習」の拠点として現在も活用され、五色台の魅力を伝え続けています。



丸亀 エリア

瀬戸内海に面した港町である丸亀市。日本100名城にも選ばれる丸亀城と全国シェア9割を占める丸亀うちわの産地として有名です。アートと歴史と伝統工芸をまるごと楽しめます。

01 丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館 (MIMOCA)

多感な少年時代を丸亀市で過ごした猪熊画伯の「気軽に立ち寄り、美しい空間でいい作品を見て新鮮な刺激を受けて心が元気になる場所」という思いを受け、建築家・谷口吉生が設計した駅前の美術館。猪熊作品の展示だけでなく、現代アートを中心とした企画展やワークショップなども盛んに開催され、新鮮な刺激を受けられる場所になっています。



撮影 増田好郎

住 所 丸亀市浜町80-1

電話番号 0877-24-7755

営業時間 10時～18時（最終入館は17時30分）

定休日 月曜日、他

料 金 企画展：展覧会ごとに定める

常設展：一般 300円、大学生 200円、高校生以下 無料、丸亀市民は市民割あり

駐車場 無、JR丸亀駅前地下駐車場2時間無料

美術館に併設されたアートを感じるくつろぎ空間



撮影 増田好郎

Café MIMOCA

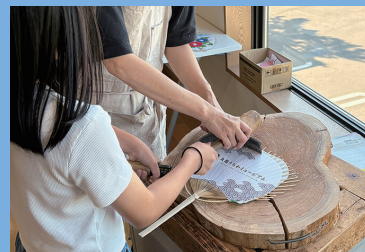
＼ちょっとひととき／

Café MIMOCAは丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の3F屋上広場に併設された開放的なカフェで、アート鑑賞の余韻を味わいながらくつろげる空間です。滝のオブジェなどが展示されるカスケードプラザを望む大きな窓からはやわらかい光が差し込み、ゆったりとした時間の中で、軽食やデザート、ドリンクを楽しめます。

HPは
こちらから



旅の思い出をカタチにのこそう



住 所 丸亀市中津町25-1

電話番号 0877-24-7055

営業時間 9時30分～17時

定休

駐車

02 丸亀城

4層に重なる石垣の総高は約60mで、日本一の高さを誇る「石垣の名城」。隅角部の石垣は算木積みされた美しい曲線美で、「扇の勾配」と呼ばれています。3層3階の日本一小さな天守は、全国に現存する木造天守12城の1つ。大手門・天守の両方が国の重要文化財。

住 所 丸亀市一番丁

電話番号 0877-22-6278（丸亀市文化財保存活用課）

営業時間 天守観覧時間9時～16時30分

（最終入城16時）

※詳しくはホームページ参照

定休日 無休

料 金 天守観覧料 大人 400円、
中学生以下 無料

駐車場 有



丸亀 MAP

うどん店

丸亀うちわミュージアム

03

中津万象園・丸亀美術館

JR讃岐塩屋駅





03 中津万象園・丸亀美術館

1688年京極藩2代目藩主により築庭された池泉回遊式の大庭園。約15,000坪の園内には、日本最古の煎茶席、京都伏見稻荷に由来する百本鳥居、樹齢650年以上の大傘松のほか、バルビゾン派の絵画を展示する「丸亀美術館」、旬の素材を生かした讃岐の味覚が楽しめる「食事処懐風亭」も併設。

住所	丸亀市中津町25-1
電話番号	0877-23-6326
営業時間	9時30分～17時 (最終入園16時30分)
定休日	水曜日 駐車場 有
料金	庭園：一般 800円、 小・中学生 400円、 絵画館：一般 500円、 小・中学生 200円



HPは
こちらから

丸亀うちわミュージアム

丸亀うちわミュージアムで、うちわ作り体験

国の伝統的工芸品「丸亀うちわ」の歴史と魅力を伝える総合博物館。館内には多彩なうちわや模型人形を展示。職人による実演コーナーでは伝統の技と工程を間近で見学でき、うちわ作り体験では好みの紙を選んでオリジナル作品を制作できます。(要事前予約)

日 水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

場 有

HPはこちら

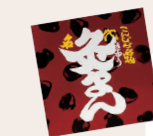


善通寺 琴平 エリア

01 灸まん 美術館

香川県琴平町近郊の「灸まん美術館」は、金比羅山(象頭山)を望む地にあり、郷土出身の芸術家・和田邦坊を紹介する「和田邦坊画業館」や地元作家の発表の場となるギャラリーも併設。ふるさとの文化と芸術に触れられる観光スポットです。

住所	善通寺市大麻町338
電話番号	0877-75-3000
営業時間	9時～17時
定休日	火・水曜日、年末年始
料金	一般 500円、65歳以上・ 障がい者手帳等をお持ちの方 300円、 小中高大生 無料
駐車場	有



HPは
こちらから



和田邦坊とはどんな人？

琴平町出身の和田邦坊(1899～1992)は時事漫画家・小説家・デザイナー・画家としてマルチに活躍した人物。代表作は風刺漫画《成金栄華時代》など。戦後は、物産品の包装紙デザインを数多く手掛け、地域のブランドイメージを広げたことでも知られています。



「おとぼけ人形」昭和40年

総本山善通寺 五重塔 (内部は通常非公開)

総本山善通寺の五重塔は、基壇から相輪までの高さが約43メートルで、国内の木造塔として3番目の高さです。すべての階の天井が高く、人が立って歩けるようにつくられています。さらに中心の柱「心柱」は地面に立っておらず、最上階から鎖でつり下げられている特別な構造です。この仕組みは今でも謎が残るといわれ、見学する人の興味をかき立てます。建築の不思議を感じられる香川ならではの名所です。

住所	善通寺市 善通寺町3-3-1	定休日	無休
電話番号	0877-62-0111	料金	入場無料
営業時間	本堂7時～17時	駐車場	有(有料)



HPは
こちらから



ゆったりくつろげるカフェも隣接

旧善通寺偕行社

旧善通寺偕行社は、明治36年に第十一師団の将校たちによって竣工された歴史的建造物です。偕行社は、各地の師団所在地に社交場として建てられました。全国的に現存する偕行社建築は少なく、旧善通寺偕行社は当時の歴史を今に伝える貴重な建物です。



住所	善通寺市文京町2-1-1
電話番号	0877-63-6362
営業時間	10時～16時
定休日	年末年始
料金	無料
駐車場	有(善通寺市役所駐車場)



HPは
こちらから



十八箇所霊場第75番札所「総本山善通寺」を中心に、庭園や歴史ある建物」として親しまれる金刀比羅宮を擁し、古くから信仰と歴史の町としてお土産店やスイーツ店が連なり、街歩きも楽しめます。

02 金刀比羅宮

御本宮



「こんぴらさん」として親しまれる金刀比羅宮は、古くから海の神様として全国から信仰を集め、年間約400万人が訪れる県内最大の観光名所。明治初頭の神仏分離により、神社として再興するため社殿には独自の意匠が施され、渡り廊下など一連の施設と共に優れた景観を形成。御本宮は素木造りを採用し、天井には蒔絵で桜の模様が施されるなど、歴史的・文化財的価値が高く、見どころがたくさん。2024年8月、新たに12の建造物が国の重要文化財に指定されました。

住所 仲多度郡琴平町892-1
電話番号 0877-75-2121



HPは
こちらから

御本宮の展望台からは瀬戸大橋や讃岐平野を一望できる。



表書院

諸儀式や参拝に訪れた人々との応接の場として用いた表書院は、江戸前期に建てられ、1955年に国の重要文化財に指定。江戸時代を代表する天才絵師・円山応挙が障壁画を5つの部屋に連ねて描いた圧巻の構成となっています。

営業時間 9時～17時(最終入館16時30分)
定休日 火曜日 ※火曜日が祝休日の場合は翌水曜日を休館
料金 一般 800円、高・大生 400円、中学生以下 無料
せとうち美術館ネットワーク割引券: 一般 640円、高・大生 320円
琴平海洋博物館 相互割引: 一般 500円、高・大生 300円



円山応挙「遊虎図」(西面)

金刀比羅宮周辺 / おすすめアクティビティ

染匠 吉野屋

大正元年創業。「四国こんぴら歌舞伎大芝居」のノボリを第1回から制作する老舗染物屋。藍染、のり染のワークショップも随時開催中。

住所 仲多度郡琴平町277
電話番号 0877-75-2628
営業時間 9時～17時
駐車場 有

HPは
こちらから



五人百姓 池商店

金刀比羅宮境内で商売を許可されている「五人百姓」の一軒。名物の加美代飴の製造見学や購入ができるほか、伝統の飴を使ったソフトクリームやフルーツ飴など、「飴屋さんのおやつ」シリーズを季節ごとに楽しめます。また、「人に伝えたい琴平学」というコンテンツも提供しており、ご利益を願う飴作りとセットで体験可。(要予約)

住所 仲多度郡琴平町933
電話番号 0877-75-3694
営業時間 9時30分～18時
定休日 不定休

HPは
こちらから



▲加美代飴

金刀比羅宮

02

善通寺・琴平MAP



奥書院（非公開）

一般非公開である奥書院は江戸前期に建てられ、1955年に国の重要文化財に指定。「上段の間」は、伊藤若冲の「百花の図」で、床の間、壁、襖と、四方が201図の草花で包まれています。



旅行会社向け特別プラン

白書院

「白書院」での瀬戸内の旬の食材を贅沢に使った和洋折衷のフレンチコース。金刀比羅宮の芸術と美食に浸る非日常体験が味わえる特別なひとときをご堪能ください。



奥書院の特別内覧や白書院特別プランに関するお問い合わせは、087-832-3362（香川県観光振興課セールスグループ）まで。



高橋由一館

「日本で最初の洋画家」といわれる高橋由一の代表作「豆腐」をはじめ全27点を所蔵。20点の作品を順次展示。



宝物館

金刀比羅宮宝物館は、明治38年築の和洋折衷建築で、青木石を用いた二層建て。唐破風の玄関や入母屋造の屋根が重厚な趣を放ちます。館内には十一面観音立像や大祭行列図屏風など、貴重な文化財が展示されています。

営業時間	9時～17時（最終入館16時30分）
定休日	火曜日 ※火曜日が祝休日の場合は翌水曜日を休館
料金	一般 500円、高・大生 300円、中学生以下 無料 せとうち美術館ネットワーク割引券：一般 400円、高・大生 240円 琴平海洋博物館 相互割引：一般 350円、高・大生 200円

営業時間	9時～17時（最終入館16時30分）
定休日	火曜日 ※火曜日が祝休日の場合は翌水曜日を休館
料金	一般 800円、高・大生 400円、中学生以下 無料 せとうち美術館ネットワーク割引券：一般 640円、高・大生 320円 琴平海洋博物館 相互割引：一般 500円、高・大生 300円

こんびらさんの森に包まれた、極上空間

カフェ&レストラン 神椿

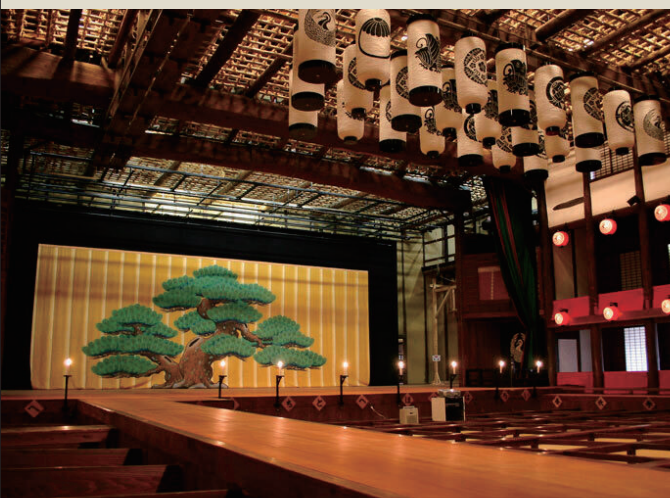
石段500段目にある、こんびらさんの森が見渡せるレストラン。香川県産の食材をふんだんに使用したコース料理を楽しめます。カフェテリアでは人気の「神椿パフェ」を中心としたスイーツや軽食など、参拝者の憩いの場となっています。カフェとレストランの壁には、濃淡のある青一色で描かれたヤブツバキの壁画が、600枚以上の有田焼の陶板で構成されているダイナミックな陶板壁画は必見です。

住所	仲多度郡琴平町892-1	定休日	不定休 ※詳しくはホームページ参照
電話番号	0877-73-0202	駐車場	有
営業時間	カフェ：10時～17時（ラストオーダー 16時30分） レストラン：11時30分～15時（ラストオーダー 14時）		

HPはこちらから



◀神椿パフェ



03 旧金毘羅大芝居 （金丸座）



天保6年（1835年）に建てられた現存する日本最古の芝居小屋。昭和45年に国の重要文化財に指定されました。四国路の春の風物詩として花形役者が共演する「四国こんびら歌舞伎大芝居」の舞台ともなっています。

住所	仲多度郡琴平町1241
電話番号	0877-73-3846
営業時間	9時～17時（最終入館16時30分）
定休日	無休
料金	一般 500円、 中・高校生 300円、 小学生 200円
駐車場	無

＼HPはこちらから／



近年、観光スポットとして高い人気を誇るエリア。

ここでしか見ることでできない建築とアートと絶景を楽しむことができます。

01 豊稔池堰堤

まるで中世ヨーロッパの古城を思わせる威容と風格があり、四季折々の景観を楽しむことができます。堤長145m、堤高30m、中央部に5基のアーチと6基の扶壁を持つマルチプル・アーチダムで、「ゆる抜き」と呼ばれる、池のゆる（取水栓）を抜く行事は、夏の風物詩。ごう音とともに毎秒4トンもの水が放流される景色は壮観です。（開催は不定期）平成18年に重要文化財（建造物）指定されました。

住 所 観音寺市大野原町田野々

駐 車 場 有

電話番号 0875-24-2150（（一社）観音寺市観光協会）

HPは
こちらから

提供：（一社）観音寺市観光協会

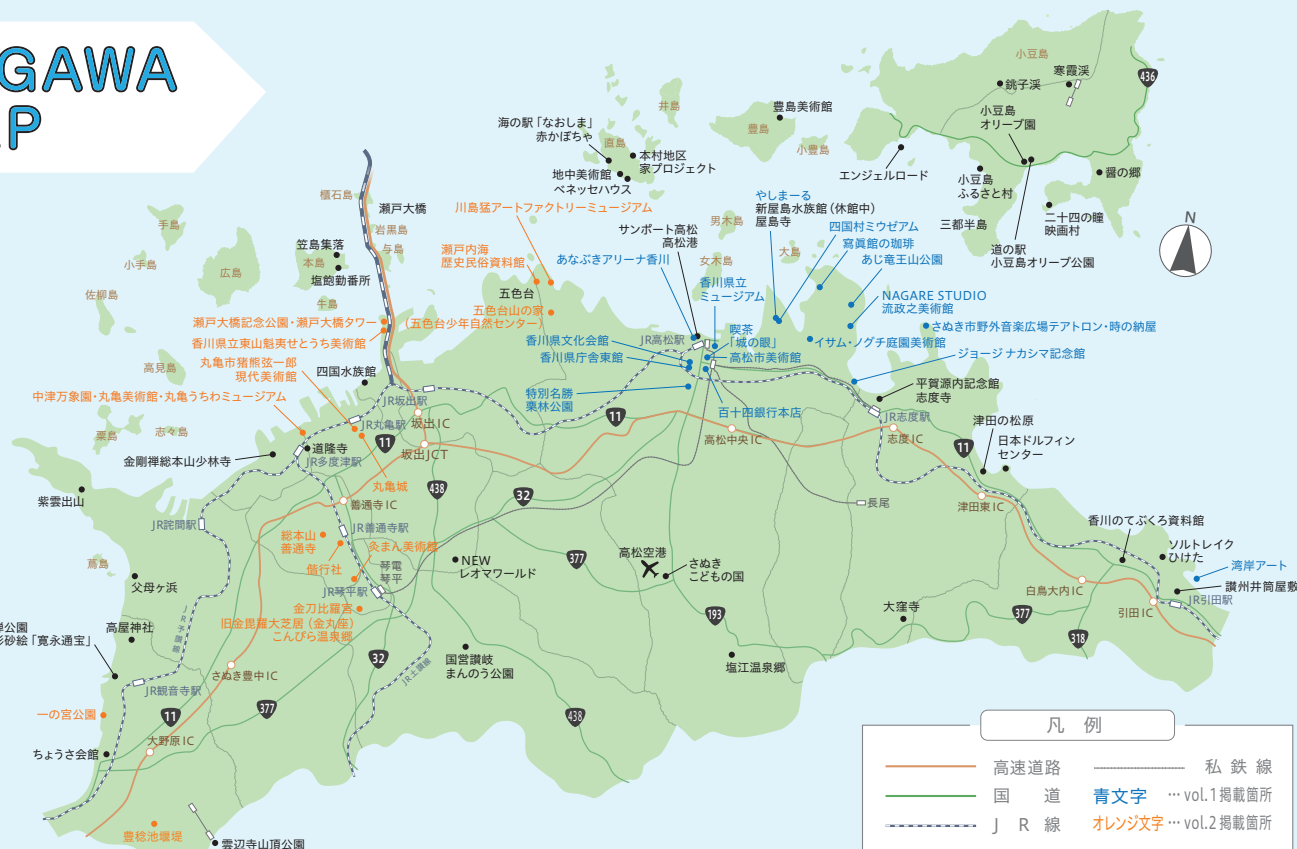
02 一の宮公園

観音寺市の一の宮公園は、海岸沿いに広がる自然豊かな公園で、世界的彫刻家イサム・ノグチがデザインした遊具彫刻が22基設置されています。国内では札幌市のモエレ沼公園に次ぐ規模を誇り、子どもから大人まで自由に遊びながらアートと自然を体感できます。園内の石碑には「イサム・ノグチと遊ぶ」と直筆で刻まれており、芝生広場や松林を背景に写真映えするスポットとしてもおすすめです。

住 所 観音寺市豊浜町姫浜

電話番号 0875-24-2150（（一社）観音寺市観光協会）

駐 車 場 有

HPは
こちらからKAGAWA
MAP

※掲載情報は2025年8月末時点の内容です。

